

**第 3 6 期（第 3 回）神戸市社会教育委員会議事録（要旨）**

1. 日 時：令和 3 年 8 月 1 2 日（木） 1 5：3 0～1 7：0 0

2. 場 所：神戸市教育委員会事務局 教育委員会会議室(大)

3. 出席者：

(1) 社会教育委員 7 名（内オンライン参加者 4 名。空井委員、森田委員、人羅委員欠席）

(2) 事務局 安田課長（埋蔵文化財センター）、西山担当係長（中央図書館） 他

4. 開 会：政策調整担当課長

5. 委員異動の紹介：

（事務局）社会教育委員を委嘱していた委員 1 名（社会教育の関係者）の解嘱に伴い、その後任として新たに委嘱した委員 1 名の紹介

6. 議事・報告事項：

**（1）第 3 6 期第 2 回会議議事録（要旨）の確認について**

（事務局）資料 1 により、前回の会議議事録（要旨）について説明。

・ 子供に対する社会教育の取り組み、社会教育施設の役割等に関する協議を進めていきたい。

・ 第 3 次神戸市子供読書活動推進計画の検証について整理を進めたい。

（議 長）質問、意見はあるか。

（委 員）特に質問、意見なし

**（2）令和 3 年度社会教育関係団体への補助金交付について**

（事務局）資料 2 により、交付対象団体、活動の詳細、交付理由、金額について説明

（議 長）社会教育関係団体補助金は、団体の活動を総じて、社会教育を推進していく団体の維持・運営のために補助金を出すというもの。補助金の使い方を審議するのではなく、社会教育関係団体への補助金に対してご意見はないか。

（委 員）補助金という扱いであるが、収支報告の必要があるのか。

（事務局）収支の報告は受けている。

（議 長）委託金ではないので、厳密な収支報告は必要なく、不正な使用をしていないとわかればよい。

（事務局）そのとおり。

（議 長）社会教育では、市民主体・当事者主体で行う活動を、行政の影響が強くなりすぎない程度にサポートするという原則がある。社会教育関係団体への補助金についても同じ考えであり、行政と市民団体の繋がりを作っている意味もある。他に気になる点はあるか。

（委員全員）特に質問、意見なし

（議 長）なければ 2 団体への補助金交付については異議なしとする。

**（3）その他****① 埋蔵文化財センター事業報告について**

（事務局）資料 3 により、埋蔵文化財センター事業報告について説明。

(議長) ご質問、意見はあるか。

(議長) 年間を通じて様々な活動があることがよくわかったが、どのような方が中心となって活動されているのか。

(事務局) 文化財課に 30 名程度在籍する学芸員のうち、埋蔵文化財センターに常駐する 6 名が企画・運営に携わる。

(議長) 学芸員資格を有するボランティアによる活動などはあるか。

(事務局) 10 数名のボランティアに協力いただいているが、学芸員資格は必須ではない。

(議長) 何かボランティアのチーム名や組織名など付いているのか。

(事務局) 埋蔵文化財センターボランティアとして活動していただいている。

(議長) 名称等を付けて、センターの活動を一般市民が無償を前提に支援しているということをしつかりアピールしていただければよいと思う。

(委員全員) 特に質問、意見なし

## ② 図書館事業報告について

(事務局) 資料 4 により、名谷図書館開館後の状況、電子図書館の本格実施について説明。

(委員) 指定管理者により運営されているが、課題はあるのか。

(事務局) 名谷図書館の特徴でもある「百貨店の中に設置されていること」は全国的にも珍しいが、百貨店との連携をどれだけ効果的に生み出せるかという点がある。また、リノベーション・神戸「名谷活性化プラン～躍動する多世代共生のまちへ～」における多世代共生という視点では、どれだけ多くの人を巻きこみ利用していただけるかという点がある。

(議長) 他に質問、意見はあるか。

(委員全員) 特に質問、意見なし

## ③ 青少年科学館リニューアル報告について

(事務局) 青少年科学館プラネタリウムリニューアル、展示装置更新について説明。

(委員) 青少年科学館の可能性が広がると感じたが、第 1 展示室、第 6 展示室についてはどうなったのか。

(事務局) 検討委員会も開催したが、青少年科学館の現状も踏まえた優先順位を精査し、今回のリニューアルを実施することになった。第 1 展示室、第 6 展示室については引き続き検討していく。

(議長) 他に質問、意見はあるか。

(委員全員) 特に質問、意見なし

## 7. 閉 会：政策調整担当課長

【以上】